



空手の全国大会で優秀な成績を収めた大和道場の選手たちの様子

大和道場が空手全国V、 柏湧斗さんは個人戦連覇

8月3・4日、宮城県で開催された第56回小・中学生全国空手道選手権大会に、高久地区の「大和道場」の小・中学生チームが会場し、揃って好成績を収めました。

団体・形の小学生低学年男子の部に出場した岩淵凌さん・弓削諒兵さん・鈴木伶弥さんと、同中学生男子の部に出場した岩淵拓未さん・海老澤昂太さん・柏湧斗さんは、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、見事両部門で優勝するとともに、小学生チームは文部科学大臣杯を受賞しました。また、個人戦では柏さんが2連覇を果たし、来年夏の世界大会日本代表に選出されました。

真壁小の園城海遥さんが「関東ジュニアテニス選手権大会」優勝

7月20～25日、千葉県白子町で開催された関東ジュニアテニス選手権大会で、園城海遥さん(真壁小6年)が12歳以下女子の部ダブルスにパートナーとともに出場し、見事優勝し、全国大会へと駒を進めました。

同大会は、関東各都県から勝ち進んだ選手が、全日本ジュニアテニス選手権大会への切符を賭けて開催されるもので、18歳以下の2歳ごとにクラスが分けられています。園城さんは、「日頃の練習の成果と指導してくれたコーチや支援してくれた皆さんのおかげです。全国大会でも頑張ります」と話していました。



関東ジュニアテニス選手権大会で優勝した園城海遥さん(写真左)とパートナー



茨城県代表として関東大会へ出場した羽黒バレーボールスポーツ少年団の皆さん

羽黒バレーボールスポーツ少年団が 関東大会で大健闘

7月26・27日、結城市かなくぼ体育館で開催された、関東ブロックスポーツ少年団競技別大会に、茨城県予選大会で準優勝の成績を収めた羽黒バレーボールスポーツ少年団が会場しました。

同大会には、関東各地から9チームが集。負けない強さや努力、感謝を大事にしている選手たちは、大声援を受けて、力いっぱいプレーしました。結果、2勝2敗で入賞は叶いませんでしたが、キャプテンの大塚絵理さんは、「次の県予選大会では優勝して、関東大会に出場し、上位を目指します」と意気込みを話していました。

ママさんバレーボール連盟杯 VIVACE 4連覇

10月14日(体育の日)、岩瀬体育館「ラスカ」で、第8回桜川市ママさんバレーボール連盟杯が開催されました。

当日は、市内の14チームが参加。優勝を決定するAブロックでは、3セットマッチのトーナメント戦が行われ、8チームが優勝を目指して熱戦を繰り広げました。結果、決勝戦をセットカウント2-1-0で勝利したVIVACEが4連覇を達成しました。

また、決勝戦まで進んだCutieHoneyが準優勝。3位決定戦を2-1-0で勝利したグレイスが第3位に入賞しました。

下水道・農業集落排水 接続促進街頭キャンペーン

9月10日、(株)エコス真壁店で、市と茨城県が、地域住民の皆さんに公衆衛生の向上並びに水質浄化の意識を高めていただくこと、下水道・農業集落排水接続促進の街頭キャンペーンを実施しました。

これは、全国下水道促進デーとして始まった「下水道の日」の活動の一環として行われたものです。当日は、買い物客の皆さんへ、リーフレットや啓発品を配布し、公共下水道や農業集落排水への早期接続の呼びかけを実施しました。大切な水資源を次世代に継承するためにも早期接続にご理解とご協力をお願いいたします。



下水道接続促進キャンペーンでは、今年もゆるキャラのいしおさんがPRに役買いました。

61kgのジャンボカボチャ優勝 ―桜川市かぼちゃ品評会―

9月15日、堤上生活改善センター(堤上地区)で、桜川かぼちゃ会主催の「第14回桜川かぼちゃ品評会」が開催され、61kgのカボチャを出品した小杉光行さん(西飯岡地区)が優勝しました。

この品評会は、「アトランティック・ジャイアント」という巨大品種のカボチャの重さを競うもので、18人が出品しました。会長の深谷守夫さんは、「暑い天候などで、苗が枯れてしまい出品数が少なかった。この状況のなか、皆が丹精込めて頑張ってくれました」と話していました。



「桜川かぼちゃ品評会」に出品されたジャンボカボチャと出品者の皆さん

子どもたちが、ゴルフ場を満喫

8月27日、筑西市内のゴルフ場で、桜川市・筑西市在住の小・中学生と保護者を対象に、ゴルフ場とクラブハウスを無料開放する感謝祭が行われました。

これは、同ゴルフ場が地域の方へ日頃の感謝を表すとともに、子どもたちにゴルフに親しんでもらおうと開催されたもので、今年で2回目。芝生を利用したさまざまなイベントが行われ、バーベキューなどが振る舞われました。

当日は、約650人が参加し、バターゴルフやわなげ、サッカーボールドラゴンなどのイベントを楽しみました。



無料開放されたゴルフ場の芝生の上でバターゴルフを楽しむ子どもたち

行灯でまちおこし 「蔵の街行灯まつり」開催

10月20日、真壁伝承館周辺で、大和町商店会(真壁町真壁地区)主催の「蔵の街行灯まつり」が開催されました。

これは、茨城県商店街活性化コンペ事業の一環として、行灯を利用して趣のある癒されるまちづくりを行い、来訪者を増やそうとしたものです。当日は雨にもかかわらず、約250人が来訪し、店先に並んだ真壁幼稚園児たちの絵が入った行灯や真壁伝承館で行われたダンスや演舞などを楽しみました。同商店会では、歴史ある町並みのシンボルの一つとして、今後も行灯を活用したまちおこしを行っていくそうです。



「蔵の街行灯まつり」で、店先などに並ぶ行灯